

三原 MIHARA work handbook

お仕事ハンドブック

2020

地元・三原で働く先輩たちから
後輩たちへのメッセージ

STORY **20**

お客様と会社を結ぶパイプ役に 目指すは“稼げるお父さん”

まえだ しゅんた
前田 隼汰 (26歳)

2017年入社

三原市立本郷中学校・大阪産業大学附属高等学校 出身

大学の先生から現在の会社を紹介してもらい、仕事内容を調べるうちに、香料が暮らしを豊かにしていると知り興味を持ちました。当初は製造部で充填作業に携わり、現在は生産管理部で原料の購入や調達を担当しています。確かな品質の製品を納期に確実に間に合わせることが使命なので、品質保証部、製造部とスムーズな連携が取れるよう心掛けています。平成30年7月の豪雨災害の際には停電と断水のため製造ができなくなるという危機がありましたが、東日本大震災を乗り越えた親会社の高砂香料工業の協力支援とノウハウを授かり、無事に製品を供給し続けることができました。今後の自身の目標は、大きな一軒家が建てられるような、しっかり稼げるお父さん。与えられたポジションを全うし、管理職を目指していきます。



休日の過ごし方



家族で買い物や遊びに出掛ける、何気ない休日が幸せ

学生時代は野球一筋だったので、今でも三原のソフトボールチームに入り練習に汗を流しています。同じ会社の人も数名在籍していて、社外でも仲良くさせてもらえるのがありがたいです。また、仕事へのモチベーションは、何と言っても子どもの笑顔。家族で遊びに出掛けたり、両家の実家に孫を見せに行く休日が本当に幸せだなと感じます。

業界での実績と風通しの良い職場環境が魅力

香料分野で売上国内トップクラスの『高砂香料工業』が100%出資する、西日本初の生産拠点。グループ企業として食品向け香料製造の中核を担い、国内外の食品メーカーに香料を供給している。私たちが口にする多くの商品に利用される安全・安心な香料を製造し、そのアイテムは非常に多い。また、若い従業員が多く活気溢れる雰囲気。シャワールームのある更衣室や、テニス、フットサル向けの多目的コートなど、従業員が楽しく働けるような設備が充実しており、社内行事も多数。



休憩室などを備えた厚生棟が完成



年間約3000t超のフレーバーを生産